

# 美しい景観を後世に引き継ぐために

問【景観】都市計画課建築住宅室（☎75-8947）【歴史まちづくり】都市計画課都市政策室（☎75-8946）



景観には、海や川、山などの自然が生み出す景観や、歴史的な建造物、町並みが創り出す景観があり、お祭りなど心に残る風景も景観の1つです。これらの景観は、それぞれ異なる自然条件や歴史の中で築かれてきた地域固有の財産であることから、市では、「村らしい景観」を後世に継承するまちづくりを進めています。

## 『景観を創る』取り組み



町並みに調和した建物の修景

歴史的な町並み景観を創り出すには、町並みを構成するおのおの建物を、昔の面影が残る古い町家などに調和した外観にすることで歴史的な町並みを創出できます。景観計画や歴史的風致維持向上計画では、建造物の外観の修理、修景をする際の支援制度を設けています。

## 『景観を守る』取り組み



旧武家町地区の生垣

昔の面影が残る町家などの歴史的な建造物を残すことは、町並み景観の保全につながります。また、街路樹や生垣の剪定などの美化活動も、大事な景観まちづくりの一つです。景観計画重点地区の旧武家町地区では、申請のあった生垣所有者へ、剪定のためのごみ袋引換券を配布して、生垣の保全に努めています。

## 「村上市景観形成助成金制度」を利用して、美しい景観を引き継ぎましょう

市の歴史や文化、風土などの特色を残している地区では、景観の維持、建築物の外観の修理、修景をする際の支援制度を設けています。交付基準など詳しくは、市ホームページをご覧ください。  
地区の景観がさらに魅力あるものとなるためには、市民一人一人が主役となり、事業者や行政と協働で景観づくりに取り組むことが大切です。皆さんで、美しい景観を後世に引き継ぎましょう。

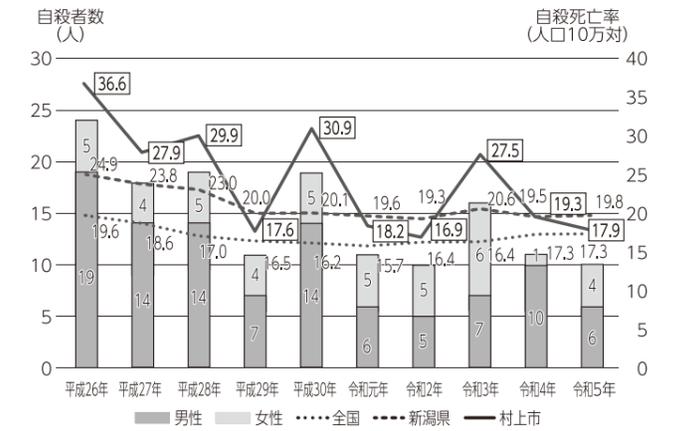
# 大切な「いのち」を守るために、ゲートキーパーになりませんか

問 保健医療課健康支援室（☎53-3364）



市の自殺者数・自殺死亡率は増減を繰り返しながら減少していますが、全国平均の数値と比較すると、高い状況にあります（図1）。市の傾向として、男性に多く、特に40歳代の働き盛り世代と70歳以上の高齢者の数値が高くなっています。また、20～30歳代の若い世代でも、毎年1～2人が亡くなっています。

（図1）市の自殺の現状



つらいと感じたら、すぐに相談窓口にご連絡してください。

### 【相談窓口】

- ・新潟県こころの相談ダイヤル（☎0570-783-025）
- ・村上保健所（☎53-8369）
- ・保健医療課健康支援室（☎53-3364）

## ◆ゲートキーパーになって大切な「いのち」を守りませんか

ゲートキーパーは、悩んでいる人に「気づき」「声をかけ」「話をきいて」、必要な支援に「つなげ」「見守る」などの対応をとることができ、「命の門番」ともいられています。資格は必要なく、研修会に参加して適切な対応を学ぶことで、どなたでもなることができます。身近な人の「心のSOS」に気づくために、適切な対応を学んでみませんか。

## ゲートキーパーを学ぼう！研修会

と き 【1回目】10月9日(水) 午後1時30分～3時30分  
【2回目】10月17日(木) 午後1時30分～4時30分

と ころ マナボーテ村上

対 象 村上市在住の人  
※両日とも受講できる人が対象となります

定 員 30人程度（先着順）

申し込み 10月2日(水)までに、電話またはFAX、メール、電子申請のいずれかで申し込んでください

問い合わせ・申し込み先  
保健医療課健康支援室（☎53-3364、☎53-3840、  
✉hoken-kz@city.murakami.lg.jp）

※ゲートキーパーについて詳しく知りたい人は「ゲートキーパーになろう」を検索



電子申請

